

着信履歴

これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“着信履歴”を選択します。

③ (⏪)を押す。

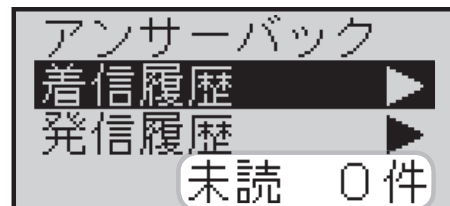
着信履歴が表示されます。



- ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。
- (▶)を押した後に(◀)を押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶でキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

④ (⏩)を押す。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

発信履歴

これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“発信履歴”を選択します

③ (⏪)を押す。

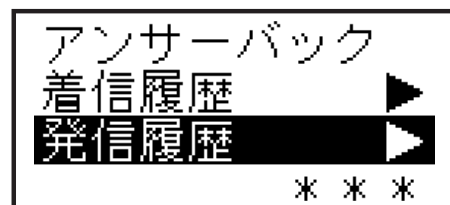
発信履歴が表示されます。



- ロータリースイッチをまわすと、発信履歴を切り換えることができます。
- (▶)を押した後に(◀)を押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶でキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

④ (⏩)を押す。

発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



メッセージ送信

あらかじめ登録されたメッセージ(最大 10 件)を送信することができます。

※メッセージの設定は、販売店にご相談ください。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“メッセージ送信”を選択します。

③ (⏪)を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

送信したいメッセージを選択します。

⑤ (⏪)を押す。

⑥ 再度(⏪)を押す。

選択したメッセージを送信し、ディスプレイ上面に“☎”マークが点滅します。

補足

個別宛先で送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示する。

“応有”：正しくメッセージが届いた場合。

“応無”：正しくメッセージが送られなかった場合。

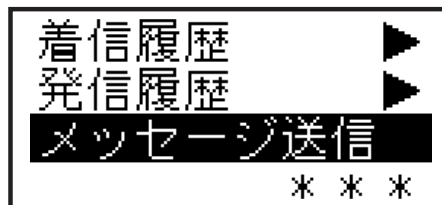
⑦ (⏪)を押す。

メッセージを送る前の画面に戻ります。

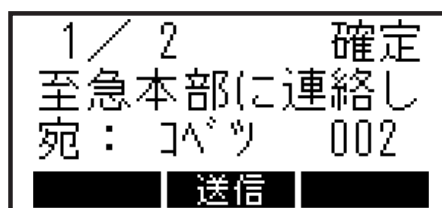
補足

メッセージを受信すると、ディスプレイ上面に“☎”マークが点滅し、同時にメッセージを表示(スクロール)します。

メッセージを確認後(⏪)を押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。



メッセージを選択



メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“メッセージ確認”を選択します。

③ (⏪)を押す。

メッセージの着信履歴が表示されます。

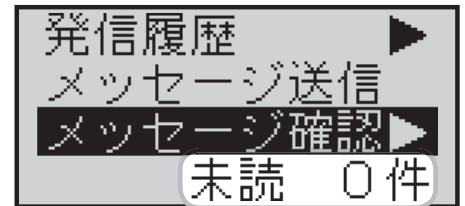
補足

○ ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。

○ (▶)を押した後に(◀)を押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶でキャンセル)。

④ (⏩)を押す。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

拡張機能 ～コールモード～

自局 ID、UC(ユーザーコード)、秘話 ID など、通信時に使用する情報や機能の設定を行うことができます。

※ (D)：デジタル通信時に有効な設定項目

(A)：アナログ通信時に有効な設定項目

項目	初期値	設定値	機能
C01 通信方式 (D)	UC 通信	個別通信 / UC 通信	デジタル通信時の通信方式の選択
C02 UC(D)	000	000 ～ 511	UC(ユーザーコード)の設定
C03 自局 ID(D)	001	001 ～ 200	自局 ID の設定
C04 グループ ID(D)	201	201 ～ 230	グループ ID の設定
C05 通信方式 (A)	一斉	セレコール / 一斉	アナログ通信時の呼び出し方式の設定
C06 UC(A)	01	00 ～ 99	セレコール時の UC(ユーザーコード)の設定
C07 自局 ID(A)	01	01 ～ 80	セレコール時の自局 ID の設定
C08 グループ ID(A)	81	81 ～ 98	セレコール時のグループ ID の設定
C09 個別ベル	1 回	0/1/2/3/4/5 回	個別呼び出し時の電子音の回数設定
C10 グループベル	0 回	0/1/2/3 回	グループ / 一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C11 個別宛先	可変	可変 / 固定	個別通信時の呼び出し先表示の設定
C12 固定宛先 (D)	000	000 ～ 230	デジタル個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C13 固定宛先 (A)	99	01 ～ 99	セレコールの待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C14 緊急個別 ID	***	000 ～ 255	緊急を知らせたい相手局の ID 設定 (アナログ通信では設定できません)
C15 通話保持時間	5 秒	5/10/15/30/ 60 (秒)/CONT	個別通信時の通話保持時間の設定
C16 秘話 ID	OFF	OFF/\$01 ～ \$20	プリセット秘話コードの選択。 あらかじめ \$01 ～ \$20 に、最大 20 種類の秘話鍵をプリセット可能。

拡張機能(コールモード)の基本的な操作方法を右ページに記します。

補足

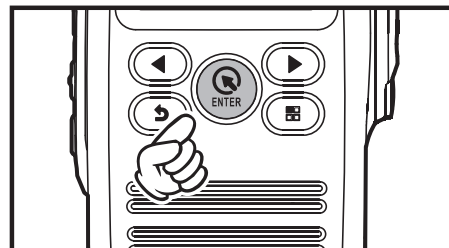
各項目の具体的な操作方法は、40 ページ以降を参照してください。

注意

拡張機能にはセットモード / コールモード以外にサービスモードがあります。このサービスモードは、サービスマン専用のモードです。故意に設定すると無線機が使用できなくなることがあります。

- ① 一度電源を切り、を押しながら電源を入れる。

拡張機能の選択画面が表示されます。



- ② ロータリースイッチをまわす。




“コールモード” を選択します。

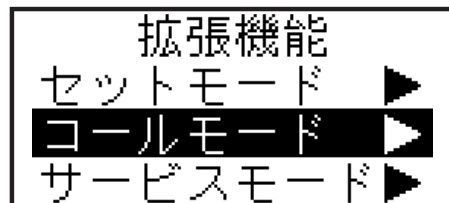
- ③ を押す。

補足

○ パスワードの入力画面が表示された場合、コールモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

○ パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。

1. ロータリースイッチで数字を選択します。
2.  / で桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
3. 入力が終わったらで決定します。
4. 正しいパスワードが入力されると、コールモードの画面が表示されます。



- ④ ロータリースイッチをまわす。

設定したい項目を選択します。

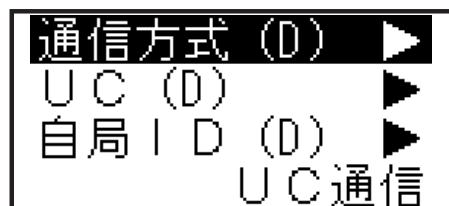
- ⑤ を押す。

- ⑥ ロータリースイッチをまわす。

設定値を変更します。

- ⑦ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



C01 通信方式 (D) ～デジタル通信で使用する設定です～

UC 通信と個別通信を切り換えることができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。
“通信方式 (D)” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の通信方式を選択します。

“UC 通信”：デジタル UC 通信方式で運用するとき。

“個別通信”：デジタル個別通信方式で運用するとき。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式



通信方式

C02 UC(D) ～デジタル通信で使用する設定です～

UC(ユーザーコード)を変更することができます。

※ UC =ユーザーコード

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“UC(D)” の表示にあわせませす。

補足

○ ユーザーコードの代わりに“CH”が表示される場合は、すでにチャンネルごとにユーザーコードが設定されており、変更することができません。

○ 現在の値が表示されていても、次の③の操作にて \odot を押しても値が変更できない場合は、販売店によりユーザーコードの変更が禁止された状態になっています。

これらの状態でユーザーコードの変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



現在のユーザーコード



ユーザーコード

③ \odot を押す。

ユーザーコードの百の桁で、カーソルが点滅します。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

設定できるユーザーコードは“000”～“511”です(512以上の数字にあわせることはできませんが、設定することはできません)。

補足

ユーザーコードの“000”は、特別なユーザーコードとして扱われ、受信時は、ユーザーコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか、通信することができません。

⑤ \blacktriangleright を押す。

カーソルが右の桁に移動します。

\blacktriangleleft を押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のユーザーコードを設定します。

⑦ \odot を押す。

その後電源を切ると変更は終了です。

C03 自局 ID(D) ～デジタル通信で使用する設定です～

個別通信で無線機に設定されている自局の ID を変更することができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“自局 ID(D)” の表示にあわせて。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

補足

○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。

○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤  を押す。

その後電源を切ると変更は終了です。



現在の自局 ID



自局 ID

C04 グループ ID(D) ～デジタル通信で使用する設定です～

個別通信で無線機に設定されているグループ ID を変更することができます。

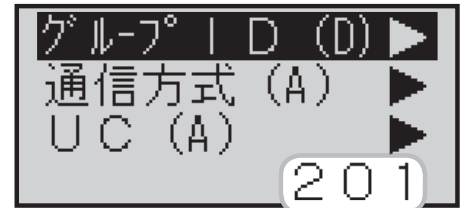
① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“グループ ID(D)” の表示にあわせませす。



現在のグループ ID に“ALL”が表示されている場合は、販売店により複数のグループ ID が登録されています。変更が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。



現在のグループ ID

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の ID を選択します。



- あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
- 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



グループ ID

⑤ を押す。

その後電源を切ると変更は終了です。

C05 通信方式 (A) ～アナログ通信で使用する設定です～

呼び出し方式を切り換えることができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“通信方式 (A)” の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の呼び出し方式を選択します。

“一斉” : 同じトーンを設定した局を一斉に呼び出すとき。

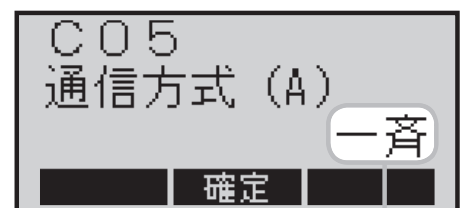
“セレコール” : 指定した相手局を呼び出すとき。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の呼び出し方式



呼び出し方式

C06 UC(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

セレコール用のUC(ユーザーコード)を変更することができます。

※ UC =ユーザーコード

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“UC(A)” の表示にあわせます。

③ を押す。

ユーザーコードの十の桁で、カーソルが点滅します。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

設定できるユーザーコードは“00”～“99”です。

⑤ を押す。

カーソルが右の桁に移動します。

を押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、ユーザーコードを設定する。

⑦ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在のユーザーコード



ユーザーコード

C07 自局 ID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、自局のセレコール用 ID を変更することができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“自局 ID(A)” の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

設定できる ID は、“01” ～ “80” です。

補足

○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。

○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の自局 ID



自局 ID

C08 グループ ID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、セレコール用のグループ ID を変更することができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“グループ ID(A)” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

設定できる ID は、“81” ～ “98” です。

補足

○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。

○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在のグループ ID



グループ ID

C09 個別ベル

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“個別ベル” の表示にあわせませす。

③  を押す。

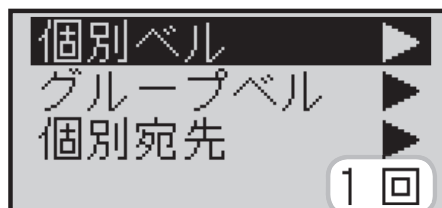
④ ロータリースイッチをまわす。

希望の回数を選択します。

設定できる回数は“0” ～ “5” です。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C10 グループベル

グループ / 一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“グループベル” の表示にあわせませす。

③ を押す。

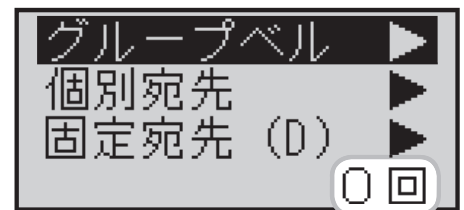
④ ロータリースイッチをまわす。

希望の回数を選択します。

設定できる回数は“0”～“3”です。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C11 個別宛先 ～デジタル通信で使用する設定です～

個別通信で応答待ち時間（通話タイマー）が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“個別宛先” の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

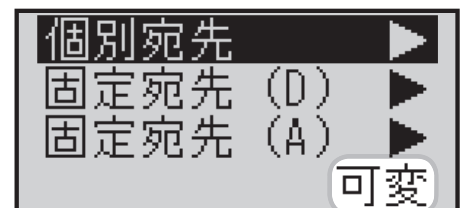
希望の表示方法を選択します。

“可変”：直前の通話で設定した呼び出し先の ID を表示します。

“固定”：あらかじめ設定している（C12 固定宛先で設定）呼び出し先の ID 表示に変わります。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

C12 固定宛先 (D) ～デジタル通信で使用する設定です～

個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“固定宛先 (D)” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。


設定できるIDは“000”～“230”です。

補足

- あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。
- 登録されているID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤  を押す。

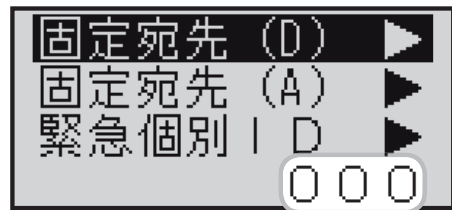
カーソルが右の桁に移動します。

 を押すと、カーソルが左の桁に移動します。

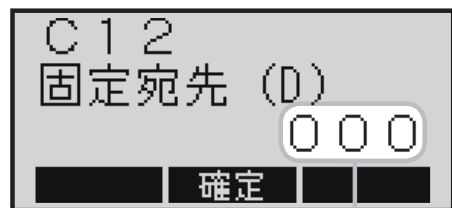
⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のIDを設定する。

⑦  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の固定宛先 ID



固定宛先 ID

C13 固定宛先 (A) ～アナログ通信で使用する設定です～

セレコールの待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“固定宛先 (A)” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

設定できるIDは、“01”～“99”です。

補足

○ あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。

○ 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤  を押す。

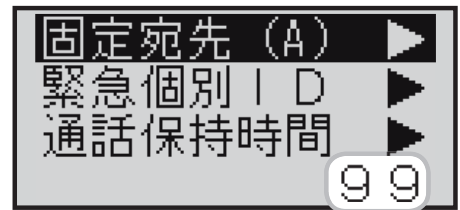
カーソルが右の桁に移動します。

 を押すと、カーソルが左の桁に移動します。

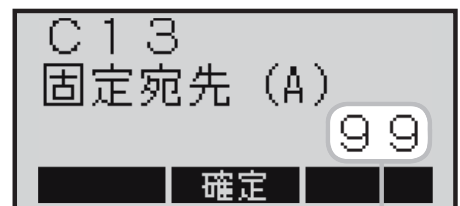
⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、IDを設定する。

⑦  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の固定宛先



固定宛先

C14 緊急個別 ID ～デジタル個別通信で使用する設定です～

出荷時の設定は、同一ユーザーの全員に緊急を知らせる“緊急一斉”に設定されていますので、本設定を行うことはできません。

緊急を知らせたい相手局のIDを変更できる“緊急個別”方式への変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◎ 緊急一斉

同じユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができます。

◎ 緊急個別

特定の相手局にだけ、緊急を知らせることができます。

C15 通話保持時間

応答待ち時間（通話タイマー）の時間を設定することができます。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“通話保持時間” の表示にあわせませす。

③  を押す。

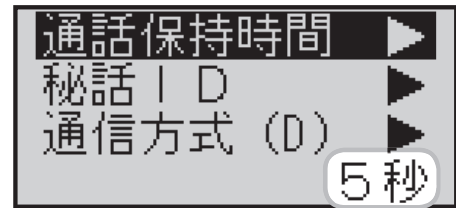
④ ロータリースイッチをまわす。

希望する応答待ち時間を選択します。

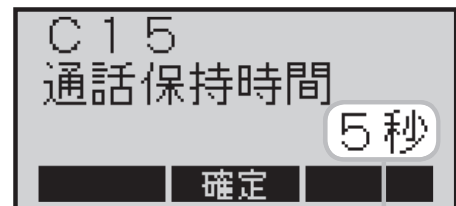
設定できる時間は“5秒”、“10秒”、“15秒”、“30秒”、“60秒”、“CONT”（連続）です。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定時間



設定時間

C16 秘話 ID ～デジタル通信で使用する設定です～

秘話通信機能の動作を、ON/OFF することができます。

秘話通信機能を使用するには、あらかじめ秘話コードを設定しておく必要があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

① 39 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“秘話 ID” の表示にあわせませす。

補足

“ALL OFF” が表示される場合は、秘話機能の使用が禁止されていますので、設定を行うことはできません。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

秘話通信機能の OFF または秘話コードを選択します。


“\$01 ~ \$20” : 設定した秘話コードで秘話機能が動作します。

“OFF” : 秘話通信機能がオフになります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- 秘話通信機能が動作しているときは、ディスプレイに“” が点灯します。
- 交信したい相手の無線機にも、同じ秘話コードが設定されていないと、交信することはできません。
- お互いの秘話コードが異なる場合は、相手の音声を電氣的に秘話処理した電子音が聞こえるだけで、通話内容を正しく聞き取ることができません。
- 秘話信号を受信すると、LED インジケーターが青色で点滅します。
- 秘話通信機能が動作しているときに送信すると、LED インジケーターが青色で点灯します。



現在の設定



設定

拡張機能 ～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定を行うことができます。

項目	初期値	設定値	機能
F01 ビープレベル	レベル08	レベル00～15	操作音(ビープ音)の音量設定
F02 外部マイク	0 dB	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18 dB	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク	0 dB	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18 dB	内部マイクの感度設定
F04 ローター	チャンネル	チャンネル/ID	ロータリースイッチの動作設定
F05 キーロック	前面	PTT/前面/上部 全て/前面+上部	キーロックの動作設定
F06 緊急モード	BP	BP/T/S/BP+T/OFF	緊急モードの動作設定
F07 TXビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F08 RXビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定
F09 スケルチ	レベル04	レベル00～12	スケルチレベルの設定
F10 ノイズキャンセル	ON	ON/OFF	ノイズキャンセル機能の設定
F11 通話モード	デュアル	デュアル/アナログ デジタル	通信モードの選択
F12 送信出力制限	High有効	High有効/Low固定 受信専用	送信出力の設定
F13 弱電界アラーム	OFF	ON/OFF	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F14 不在着信ベル	OFF	OFF/5秒毎×2 2秒毎/1分毎/連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F15 アンサーバック	OFF	ON/OFF	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定 ※(D)
F16 電池アラーム	レベル08	レベル00～15	ローバッテリーアラートの音量設定
F17 CH音声キー	ON	ON/OFF	チャンネル音声案内の動作設定
F18 ACC電源	ON	ON/OFF	アクセサリのユニットへの電源供給の設定

※(D)：デジタル個別通信時に有効な設定項目

セットモードの基本的な操作方法を右ページに記します。

補足

各項目の具体的な操作方法は、54ページ以降を参照してください。

注意

拡張機能にはセットモード/コールモード以外にサービスモードがあります。このサービスモードは、サービスマン専用のモードです。故意に設定すると無線機が使用できなくなることがあります。

- ① 一度電源を切り、を押しながら電源を入れる。

拡張機能の選択画面が表示されます。






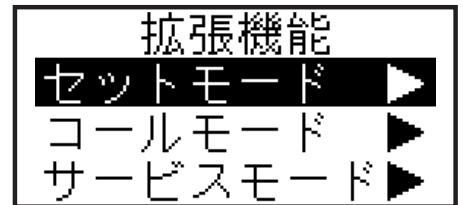
- ② ロータリースイッチをまわす。

“セットモード” を選択します。

- ③ を押す。

補足

- パスワードの入力画面が表示された場合、セットモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ロータリースイッチで数字を選択します。
 2.  / で桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
 3. 入力が終わったらで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、セットモードの画面が表示されます。



- ④ ロータリースイッチをまわす。

設定したい項目を選択します。

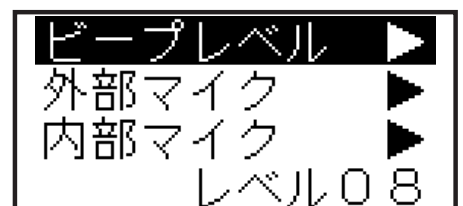
- ⑤ を押す。

- ⑥ ロータリースイッチをまわす。

設定値を変更します。



- ⑦ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ロータリースイッチをまわす。
“ビープレベル” の表示にあわせませす。
- ③ を押す。
- ④ ロータリースイッチをまわす。
希望の音量を選択します。
設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
- ⑤ を押す。
その後電源を切ると設定は終了です。





現在の音量レベル



音量レベル

F02 外部マイク

外部マイクロホンのマイク感度を設定することができます。

- ① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ロータリースイッチをまわす。
“外部マイク” の表示にあわせませす。
- ③ を押す。
- ④ ロータリースイッチをまわす。
希望の感度を選択します。
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。
- ⑤ を押す。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)



マイク感度

F03 内部マイク

マイク感度を設定することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわす。

“内部マイク” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の感度を選択します。

マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度



マイク感度

F04 ロータリー

ロータリースイッチの動作を変更することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“ロータリー” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の動作を選択します。

“チャンネル”： ロータリースイッチをまわすと、運用チャンネルが変わります。

“ID”： ロータリースイッチをまわすと、呼び出し先 ID が変わります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F05 キーロック

ロック機能を動作させたときの、ロックさせる条件を設定することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“キーロック” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望のロック範囲を選択します。

“前面”： 無線機前面（モニター / 録音ボタンを含む）にあるボタンがロックされます。

“上部”： ロータリースイッチがロックされます。

“全て”： ロータリースイッチ、無線機前面にあるボタン、PTT スイッチがロックされます。

“前面+上部”： ロータリースイッチと無線機前面（モニター / 録音ボタンを含む）にあるボタンがロックされます。

“PTT”： PTT スイッチがロックされます。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- 本機を“受信専用機”として使用する場合は、送信操作を禁止するために“PTT”に設定してください。
- モニターボタン、ロックボタン、緊急ボタンはロックされません。



現在の設定



設定

F06 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“緊急モード” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の動作を選択します。

“BP” : 無線機のスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。

“T” : 自局の ID を含んだ緊急信号を送出します。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中に PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

※ この設定は、個別通信時のみ動作いたします。

“S” : サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示と LED は緊急動作中も変化しません。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中に PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。

※ この設定は、デジタル個別通信時のみ動作いたします。

“BP+T” : 上記 “T” の動作を行った後、“BP” の動作を行います。

※ この設定は、アナログ一斉通信時および、デジタル UC 通信時には “BP” の動作を行います。

“OFF” : 緊急アラーム機能は動作しません。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F07 TX ビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“TX ビープ” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

TX ビープのオン / オフを選択します。

“ON” : TX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

“OFF” : TX ビープの動作がオフになります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F08 RX ビープ ～デジタル通信で使用する機能です～

受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

デジタル個別通信時または、“000” 以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“RX ビープ” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

RX ビープの ON/OFF を選択します。

“ON” : RX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

“OFF” : RX ビープの動作がオフになります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F09 スケルチ ～アナログ通信で使用する機能です～

信号を受信していない時の耳障りなノイズを消す“スケルチ回路”のレベルを設定することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“スケルチ”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望のレベルを選択します。

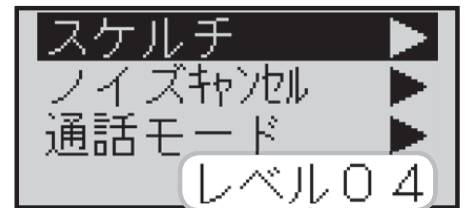
設定できるレベルは“00”～“12”です。

補足

“00”に設定すると、アナログ通信方式では、常に“ザー”というノイズが聞こえる状態になります。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在のスケルチレベル



スケルチレベル

F10 ノイズキャンセル ～デジタル通信で使用する機能です～

周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信する「ノイズキャンセル機能」をON/OFFすることができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“ノイズキャンセル”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

ノイズキャンセル機能のON/OFFを選択します。

“ON”：ノイズキャンセル機能が動作します。

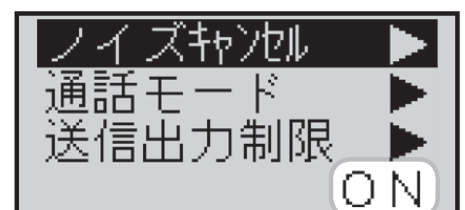
“OFF”：ノイズキャンセル機能がオフになります。

補足

ノイズキャンセル機能を“ON”にする際は、“F02 外部マイク”および“F03 内部マイク”の設定を“0dB”以下にしてください。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F11 通話モード

本機で使用できる通信方式（アナログ通信とデジタル通信）を設定することができます。使用できる通信方式は、免許内容により異なりますので、詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“通話モード” の表示にあわせます。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の表示方法を選択します。

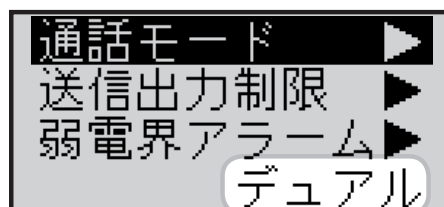
“デュアル”： デジタルとアナログ、両方の通信方式を利用することができます。

“デジタル”： デジタル通信方式のみ、利用することができます。

“アナログ”： アナログ通信方式のみ、利用することができます。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F12 送信出力制限

送信出力（発射する電波の強さ）を“5W”と“1W”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“1W”に、また、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“送信出力制限”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の設定を選択します。

“High 有効”：送信出力が 5W に設定されます。

“Low 固定”：送信出力が 1W に設定されます。

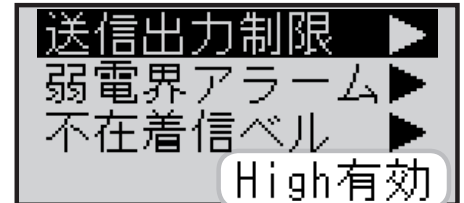
“受信専用”：PTT ボタンを押しても、送信しなくなります。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。

補足

ご購入時の設定で、周波数ごとの送信出力設定が“Low”に設定されている場合は、上記の設定を“High 有効”にしても、実際の送信出力は“Low 固定”（1W）となります。



現在の設定



設定

F13 弱電界アラーム

受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“弱電界アラーム”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

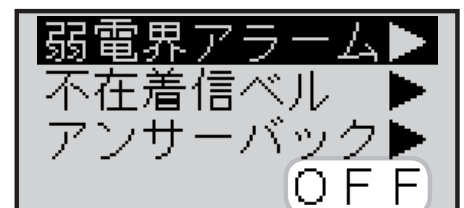
弱電界アラームの ON/OFF を選択します。

“ON”：受信信号が極端に弱くなると、アラーム音が鳴ります。

“OFF”：弱電界アラームの動作がオフになります。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F14 不在着信ベル

相手からの個別呼び出しを受けた後、応答しなかった場合、設定した条件でベル（電子音）を鳴らすことができます。

なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、ベルは鳴りません。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“不在着信ベル”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の設定を選択します。

“OFF”：不在着信ベルの動作がオフになります。

“5秒毎×2”：着信後、5秒間経過するとベルが鳴り、更に5秒間経過すると再度ベルが鳴ります。

“2秒毎”：着信後2秒毎にベルが鳴ります。

“1分毎”：着信後1分毎にベルが鳴ります。

“連続”：着信するとベルが鳴り続けます。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F15 アンサーバック ～デジタル個別通信で使用する機能です～

アンサーバック機能を、ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“アンサーバック”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

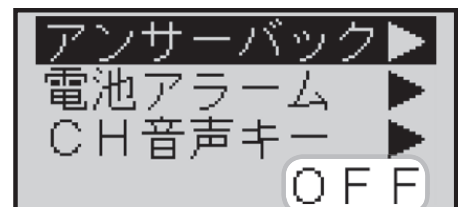
アンサーバックの ON/OFF を選択します。

“ON”：アンサーバック機能が動作します。

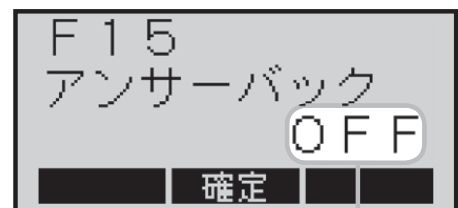
“OFF”：アンサーバックの動作がオフになります。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F16 電池アラーム

ローバッテリーアラートのアラーム音量を調整することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“電池アラーム” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の音量レベルを選択します。

設定できるレベルは“00”～“15”です。

補足 数字が大きくなるほど音量レベルが上がります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。




現在のアラーム音量



アラーム音量

F17 CH 音声キー

 を約 2 秒以上押したときに動作する音声案内をON / OFFすることができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。


② ロータリースイッチをまわす。

“CH 音声キー” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

音声案内のオン / オフを選択します。

“ON” :  を約 2 秒以上押したとき、現在のチャンネルを音声案内します。

例: Ch 01 Digital の場合は「いちデジタル」とアナウンスします。

“OFF” : 音声案内の動作をオフします。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F18 ACC 電源

アクセサリを装着した際、アクセサリユニットへの電源供給を ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“ACC 電源” の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

電源供給の ON/OFF を選択します。

“ON” : アクセサリユニットに電源を供給します。

“OFF” : アクセサリユニットへの電源供給は行いません。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



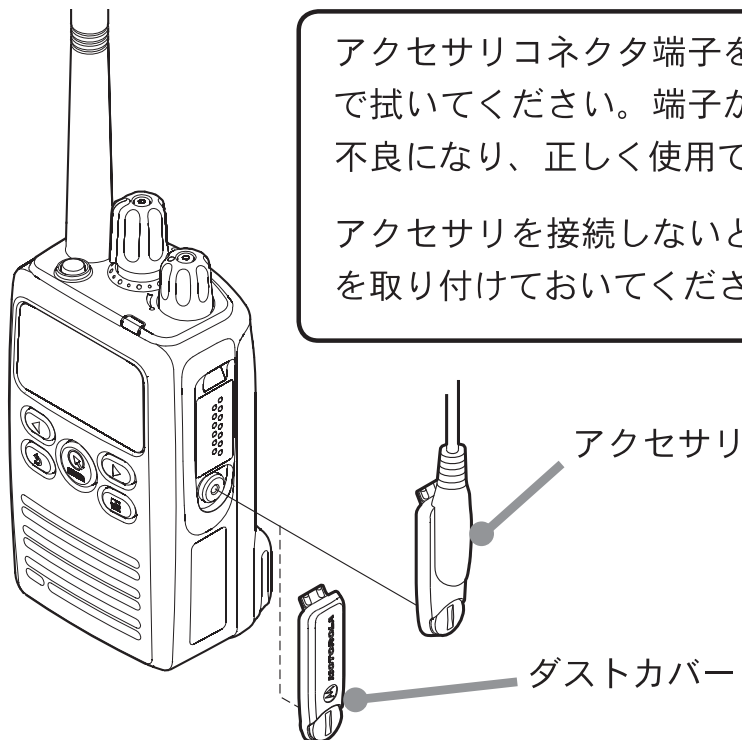
現在の設定



設定

アクセサリの取り付け

アクセサリコネクタ部分に取り付けられているダストカバーを外し、アクセサリを取り付けます。



アクセサリコネクタ端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になり、正しく使用できなくなります。

アクセサリを接続しないときは、ダストカバーを取り付けておいてください。

外部マイクの感度切り替え方法

外部マイクを使用した際に、マイク感度を調節することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“外部マイク” を表示させます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の感度を選びます。

マイクの感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” (標準) ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

⑤  を押す。

⑥ 電源を切る。

設定は終了です。



マイク感度

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？

修理を依頼される前にお確かめください。

◎ 電源が入らない!

- ・ リチウムイオン電池パックが消耗していませんか？
▶▶▶ リチウムイオン電池パックを充電してください。
- ・ リチウムイオン電池パックの端子が接触不良になっていませんか？
▶▶▶ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ リチウムイオン電池パックが古くなっていませんか？
▶▶▶ リチウムイオン電池パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない!

- ・ PTT(通話) ボタンを正しく押していますか？
- ・ 送信出力の設定が “受信専用” になっていませんか？

◎ 通話できない!

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
▶▶▶ アナログ通信方式とデジタル通信方式間では、交信することはできません。
- ・ デジタル通信の場合、相手局と同じユーザーコードに設定していますか？
- ・ デジタル通信の場合、秘話通信機能が動作していませんか？
▶▶▶ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

定 格

一 般

送 受 信 周 波 数	数	： アナログチャンネル (12.5kHz 間隔、35 波)		
			465.0375MHz ~ 465.1500MHz	
			468.5500MHz ~ 468.8500MHz	
		デジタルチャンネル (6.25kHz 間隔、65 波)		
			467.0000MHz ~ 467.4000MHz	
電 波 型 式		： F3E (アナログ)、F1E (デジタル)		
通 信 方 式		： 単信 (プレストーク) 方式		
電 池 持 続 時 間		： リチウムイオン電池	送信出力 5W	送信出力 1W
		MLB-001 (2,300mAh)	約 14 時間	約 18 時間
		MLB-002 (1,380mAh)	約 8 時間	約 11 時間
			(送信出力 5W 時、送信5、受信5、待ち受け 90 の繰り返し)	
電 源 電 圧		： DC 7.4V ± 10%		
消 費 電 流		： DC 7.4V	送信時 (出力 5W 時)	約 1.6A
			受信待ち受け時	約 80mA
			受信定格出力時	約 350mA
温 湿 度 範 囲		： 温度 - 20°C ~ + 60°C		
			湿度 95% (35°C)	
本 体 寸 法		： 56mm × 96mm × 41mm (MLB-002 使用時)		
本 体 重 量		： 約 270g (MLB-002, ダストカバー, ダミーボードを含む)		

※ RoHS 指令対応

送信部

空中線電力：5W/1W(+20%、-50%以内)
空中線インピーダンス：50Ω 不平衡
発振方式：水晶発振制御による周波数シンセサイザ方式
周波数許容偏差：±1.5ppm 以内
変調方式：4値FSK(デジタル)
可変リアクタンス周波数変調(アナログ)
占有周波数帯域幅：5.8kHz 以下(デジタル)
8.5kHz 以下(アナログ)
最大周波数偏移：±1324Hz 以内(デジタル)
±2.5kHz 以内(アナログ)
隣接チャンネル漏洩電力：-52dB 以下(デジタル、5W時)
-65dB 以下(アナログ、5W時)
総合歪及び雑音：1kHz、70%変調にて20dB以上
スプリアス発射：2.5μW 以下
不要輻射：2.5μW 以下
標準変調入力：-44dBm±5dB(1kHz 60%変調)
変調入力インピーダンス：600Ω
変調周波数特性：アナログ(1kHz基準) 0.3kHz -15dB±5dB
3kHz 6dB±5dB

受信部

受信方式：ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式
中間周波数：第一 50.85MHz
第二 2.304MHz
局発振周波数：第一 受信周波数-50.85MHz
第二 48.546MHz
局発周波数変動：±1.5ppm 以内
受信感度：-2dBμV(BER=1%)(デジタル)
-8dBμV 以下(12dB SINAD)(アナログ)
総合歪及び雑音：20dB 以上(1kHz 70% 10μV 入力時)
スプリアスレスポンス：53dB 以上(BER=1%)(デジタル)
70dB 以上(アナログ)
隣接チャンネル選択度：6.25kHz 42dB 以上(BER=1%)(デジタル)
12.5kHz 65dB 以上(アナログ)
相互変調特性：53dB 以上(BER=1%)(デジタル)
60dB 以上(±12.5kHz、±25kHz)(アナログ)
スケルチ感度：-10dBμV 以下
低周波出力：0.7W 以上(10%歪時)
低周波出力インピーダンス：16Ω
副次的に発する電波等の強度：4nW 以下

索引

欧字

A	
ACC 電源	64
ARIB 種別コード	12
E	
ENTER ボタン	15, 29
L	
LED インジケータ	14, 16
P	
PTT ボタン	15
R	
RX ビープ	58
T	
TX ビープ	58
U	
UC	41, 44
UC 通信	20

かな

あ	
アクセサリコネクタ端子 ...	15, 65
アンサーバック	34, 62
安全上のご注意	5
アンテナコネクタ	14
アンテナの取り付け	17
い	
一斉呼び出し	21, 23
お	
音量調節ツマミ	14, 22
か	
外部マイク	65
拡張機能	29, 38, 52
各部の名前と機能	14
簡易リスト	31
き	
キーロックボタン	15, 28, 56
機能ボタン	15, 29
緊急個別 ID	49
緊急ボタン	14, 30
緊急モード	57
く	
グループ ID	43, 46
グループベル	47
グループ呼び出し	21, 23

こ

構成品	12
コールモード	38
故障かな?と思う前に	66
固定宛先	48
個別宛先	47
個別通信	23, 27
個別ベル	46
個別呼び出し	23, 26
し	
自局 ID	42, 45
自局情報	33
弱電界アラーム	61
充電方法	19

せ

設定リセット	30
セットモード	52
セレコール	21
全員を一斉に呼び出す	21

そ

送受信メニュー	34
送信出力制限	61

た

ダミーボード	12, 17
--------------	--------

ち

着信履歴	35
------------	----

つ

通信について	20
通信の基本操作	22
通信方式	12, 40, 43
通話保持時間	50

て

定格	67
ディスプレイ	15, 16
電源スイッチ	14
電池持続時間	18
電池の消耗	18

と

特定の相手だけを呼び出す ..	21
-----------------	----

な

内部マイク	15, 55
-------------	--------

の

ノイズキャンセリング孔	15
ノイズキャンセル	59

は

バックライトボタン	15, 28
発信履歴	35

ひ

ビープレベル	54
秘話 ID	51

ふ

不在着信ベル	62
--------------	----

へ

ベルトクリップ	17
---------------	----

ほ

ボイスチャンネルアナウンス...	29
防水性	11

ま

マイク感度	54, 55, 65
-------------	------------

む

無線機情報	33
-------------	----

め

メッセージ	36
-------------	----

も

戻るボタン	15, 30
-------------	--------

ゆ

ユーザーコード (UC)	20, 41, 44
--------------------	------------

よ

呼び出し	23, 24
呼び出しを受けたとき	26

り

リターン	30
リチウムイオン電池	
持続時間	18
リチウムイオン電池パック ..	15, 18
リチウムイオン電池パック	
のリサイクルについて	13
リピート再生	31
リセット	30

ろ

ロータリー	55
ロータリースイッチ	14, 27
録音ボタン	15, 28
録音メモ	32



モトローラ製品のお問い合わせ先 03-6365-7000
ホームページ..... <http://www.motorolasolutions.com/JP>

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマーク及び®表示が付された商標は米国およびその他の国における Motorola, Inc. の登録商標です。文中に記載されている他社の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。

本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」（日本）及び「米国輸出管理規制」による規制を受けますので、当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

モトローラ・ソリューションズ株式会社

PCR 事業部 〒 106-0032 東京都港区六本木 1-8-7 アーク八木ヒルズ

© Copyright 2013-2014 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



E C 1 0 7 U 0 0 1

中国印刷